

防潮堤づくりを成功させよう

～南相馬市 現地レポート①～

東日本大震災からまもなく2年です。これから東京地本が取り組む「いのちを守る森の防潮堤づくり」の苗木贈呈先、南相馬市の現状（2013年3月4日現在）を報告します。



お知らせ

常磐線原ノ町駅から広野駅間は、2011年3月11日の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故のため電車の運転を取りやめております。いわき方面へは、岩沼駅・郡山駅経由の磐越東線をご利用下さい。

原ノ町駅長



JR 常磐線は一部運転再開していますが、原発事故の影響で原ノ町駅以南の運転再開の見通しは経っていません。JR 原ノ町駅構内に留置されているスーパーひたちは、2011年3月11日以降、留置されたままとなっています。



沿岸部には防災林がありましたが、津波で倒されて海が見える状態になってしまいました。南相馬市小高区は、2012年4月15日まで人が立ち入ることが出来ませんでした。がれき撤去が進んでいないばかりか、撤去先すら決まっていません。



市内に設置された仮設住宅に住んでいる南相馬市民は17300人です。市外から南相馬市の仮設住宅に入居している方は25000人います。小高区は、いまだに自宅に宿泊することすら出来ない状況です。

南相馬市の被害状況

津波での死者 **636名**

避難先での死亡 **390名**

震災前の市民 **71500名**

現在の市民 **46000名**

*一時**8500名**まで減少

仮設住宅に住んでいる市民 **17300名**

苗木の贈呈を通じて、森と町と鉄道を再生させよう!!

森の防潮堤づくりを成功させよう ～南相馬市 現地レポート②～

東日本大震災からまもなく2年です。これから東京地本が取り組む「いのちを守る森の防潮堤づくり」の南相馬市の現状（2013年3月4日現在）を続報します。



集めたがれきは、どこに廃棄処分するか決まっておらず、町のところどころに集めたまま放置された状態になっています。浪江町との境界では、検問が行われており、誰も立ち入ることは出来ません。学校も仮設校舎を建てて授業をおこなっていました。盛岡地本の組合員が「復興状況は岩手県の1/3だ」と語っていました。南相馬市小高区は、早期の復旧作業が必要とされています。



津波で全壊した火力発電所は、新たに建設されました。この火力発電所の南北7kmにわたって「森の防潮堤」をつくる予定です。慶作舎で育った苗木は、いまは常磐線に見守られながら原町区で育っています。

みんなの力を合わせて、「森の防潮堤づくり」を通じて、「町の復興と常磐線の復旧」を実現させましょう！



苗木の贈呈を通じて、森と町と鉄道を再生させよう!!